



※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話も 覚えてみよう

vol.41

やってみよう！～身近な言葉の手話～
普段使う言葉を手話でやってみましょう。

○国際ろう者週間

世界ろう連盟で最初の世界会議が開催されたことを記念して、毎年9月の最終週は「国際ろう者週間」とされています。今年は9月21日～27日に、世界中で手話への理解を深める啓発活動が行われます。

また、9月23日は「手話言語の国際デー」です。日本でも手話施策推進法に基づき、この日を「手話の日」と制定しました。当日は、ランドマークなどをろう者のシンボルカラーである「青色」に全国各地の施設をライトアップし、「手話は言語である」というメッセージを世界中で発信します。

手話は、手の動きだけでなく表情やしぐさも使って思いを伝える豊かな言語です。9月23日の夜、街で青い光を見かけたら、手話やろう者の人とのつながりに思いをはせてみてください。

コミュニティ



両手でコミュニティ (community) の頭文字の「C」形の親指側をつけ半円を描いて前に出し小指側をつける。

手話動画

過去に掲載した手話の動画は、
YouTube (市公式チャンネル) で
見るができます。



問い合わせ先 福祉支援課障がい福祉担当 ☎(584)1127 📠(584)1154



vol.30

自治会通信

自治会加入が暮らしの安心につながります



自治会加入
申し込みは
こちら

大和町地区自治会 藤井敏和会長

大和町地区自治会では、「あいさつ溢れる大和町」をスローガンに掲げ、住民同士の交流と助け合いを大切にしながら、安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

自治会では、新1年生歓迎会をはじめ、夏休みのお楽しみ会を兼ねた社会科見学バスハイク、敬老祝賀会、秋まつり、餅つき大会など、年間を通じてさまざまな行事を開催しています。これらの行事には子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、世代を超えた交流を深める貴重な機会となっています。地域行事を通じて顔の見える関係を築くことで、日頃から気軽に声を掛け合える温かな地域コミュニティの形成につながっています。

また、防犯活動にも積極的に取り組んでおり、自治会役員と隣組長による夜間パトロールを毎月実施しています。さらに、夏休み期間中には中学生の保護者も参加し、地域ぐるみで子どもたちの見守り活動を行っています。

ます。こうした継続的な活動は、防犯意識の向上だけでなく、住民同士のつながりを深める役割も果たしています。

自治会活動や地域の話題については、毎月発行している広報紙「みどり」を通じて発信しています。活動の様子や地域情報を共有することで自治会への理解を深め、住民の参加促進にもつながっています。

今後も交流と助け合いの輪を広げながら、誰もが安心して暮らせる活気あるまちづくりを進めていきます。



▲お花見を楽しむふれあいサロン

問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当 ☎(584)1111(代) 📠(584)1153